科目名	政治学 I	担当者	荒井 祐介	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
				授業時間数	90分×1	5回	必修選択		政経 新聞 公共政策

【関連するDP・CP】	DP-1	DP-2	DP-3	DP-4	DP-5	DP-6	DP-7	DP-8
(DP=ディプロマ・ポリシー:学位授与に関する方針) (CP=カリキュラム・ポリシー:教育課程の編成・実施	CP-1	CP-2	CP-3	CP-4	CP-5	CP-6	CP-7	CP-8
に関する方針)	0	0	0	0				

【授業の概要】

政治学で蓄積されてきた基礎的な概念や分析枠組み、理論、モデル等について、現実の事例も踏まえながら学修する。

【授業の目的】(General Instructional Objective: GIO 一般目標)

自ら現実政治の諸問題を論理的に考え説明することができるようになるために、第一に、政治学の基礎的な概念や分析枠組み、理論、モデル 等を理解し、第二に、民主主義社会を構成する政治的市民としての意識を涵養する。

【履修条件】

政治や社会について理論的かつ論理的に考える姿勢を求める。

【授業方法】

PowerPointのプレゼンテーションを利用した講義形式で行う。履修者にはレジュメ等の資料を印刷して配布する。

アクティブ・ラーニングによる授業回の有無 有

______ セメスター中、リアクション・ペーパーを用いた履修者との双方向の学修を数回実施する。

アクティブ・ラーニングの形態

【到達	目標】(Specific	Behav	vioral Objectives:SBOs 個別行動目標)										
		A-1	豊かな知識・教養に基づく高い倫理観	挑戦力									
 ルーブリック評価項目		A-2	日本及び世界の社会システムを理解し説明する力	コミュニケーションカ									
	内容	A-3	論理的・批判的思考力	論理的・批判的思考力 A-7 リ									
		A-4	問題発見·解決力	A-8	省察力	ל							
		•	`去げされて ペ゚も目 /ナイハ 仁毛			関連す	るルー	ブリック評	平価項 目	の達成	戈レベル	,	
	達成されるべき具体的行動							A-4	A-5	A-6	A-7	A-8	
1	民主主義社会の政治的市民としての意識を持ち、より良い民主主義社会の実現に 貢献できる。												
2	政治学の概念や分析枠組み、理論、モデル等を理解し説明することができる。					1							
3	政治学の基礎的な知識をもとに、現実の政治的問題について合理的かつ批判的に説明することができる。				1	1	1						
4	現実の民主主義をが必要であるのだ	土会に:	おいて、どのような対立が存在し、その解決のために 解することができる。	は何	1	1	1	1					
5													
6													
7													
8													
9													
10													

【成績評価の方法	·基準·割合】				評価方法別の							
成績評価方法	評価基準	1	2	3	4	⑤	6	7	8	9	10	比率(%)
試験(定期試験/授業内試験)	到達目標①②③④についてのリテラシーおよび知的姿勢が 身についているかを、筆記試験により評価する。	10	30	20	20							80
小テスト等	セメスター中、数回行うリアクション・ペーパーにより、 到達目標②に関わる基礎知識を評価する。		10									10
レポート等												
討論·発表等												
授業への参画度	授業中に質問や意見表明をどれだけ活発にしたかを基準 に、到達目標③④にかかわる積極的な学修態度が身につい ているかを評価する。			5	5							10
その他()												
その他()												
その他()												
	到達目標別の比率(%)	10	40	25	25							100

【課題に対するフィードバックの方法】

ポータル・システムを通して実施する。

【教科書·参考書等】					
書名	著者名	出版社名	発行年	種別	必要度
『はじめて出会う政治学〔第3版〕』	北山俊哉・真渕勝・ 久米郁男	有斐閣	2009	教科書	必携
備考					

【オフィスアワー】

月曜日12:15-13:00 研究室(4号館4階9403研究室) arai.yusuke@nihon-u.ac.jp

【実務経験を活かした実践的教育について】								
担当教員の実務経験の有無	無	実務経験の内容						
実務経験に基づく実践的教育の内容								

【授業	計画】※日程について、複数の曜日	・時限にて同授業を開講の場合は、併記を行っている。	
回数	テーマ	内 容	
	ガイダンス・導入講義	講義の内容や進め方、スケジュール、成績評価の方法等について説明し、履修者が授業の 具体的に行えるようにする。また、政治的市民として政治学を学ぶ意味と意義について考え	
1	この回の 到達目標①②③④に関連し	て、セメスター内の講義の全体像を把握すると共に、政治学を学ぶ意味と意義を認識できた。	5.
	事前字修 を読み、講義全体を概観す		120分
	事後字修 する。	ドガイダンスでの説明をふりかえり、自分の学習計画と他の履修科目との関係について検討	120分
	「組織された集団 (1) :鉄の三角回 盟」	理容所と美容所の事例を参考に、業界団体、官僚、政治家の三者間で業界の利益を擁護する 関係が構築されている点を検討する。	5同盟
2	到達目標	という点を説明できる。 「大学」では、 では、 では、 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	
	事前字修 理解できたところ、理解で		120分
	事後学修 同盟関係について説明でき に掲載されている書籍等を	く、および授業での説明をふりかえりながら、改めて、業界団体、官僚、政治家の三者間の きるようにまとめる。理解が不十分な点や疑問に感じた点について、教科書の「読書案内」 と調べ、明らかになった点をまとめる。	120分
	が支配する?」	業界団体、官僚、政治家の三者間による同盟関係(鉄の三角同盟)に関して、集団理論お、元的民主主義理論の視点から見た場合にどのように理解できるのか、また、フリー・ライク可能性が少数者の優位をもたらすのはなぜか、という点を検討する。	ダーの
3	到達目標 ように把握できるのか、	て、業界団体、官僚、政治家の鉄の三角同盟を集団理論および多元的民主主義理論の視点かりまたフリー・ライダーの可能性が少数者優位をもたらすのはなぜかを説明できる。	うどの
	事前字修 自分なりに理解できたとこ	1た集団」の「2 少数者たちが支配する?」を読み、全体の説明の流れを把握したうえで、 ころ、理解できなかったところを確認する。	120分
	★ルルム 民主主義理論の理解、お	く、および授業での説明をふりかえりながら、鉄の三角同盟に関する集団理論および多元的 はびフリー・ライダーの可能性と少数者優位の関係について、まとめておく。理解が不十分 ついて、教科書の「読書案内」に掲載されている書籍等を調べ、明らかになった点をまとめ	120分
	が変わったか?」	電話事業の事例を見ながら、「自然独占」による市場の失敗がなぜ起きるのか、それに対府がどのような介入を行うのかを検討する。	して政
4	到達目標 を説明できる。	「自然独占」による市場の失敗がなぜ起きるのか、それに対して政府がどのような介入を行っ	うのか
	事則字修 で、自分なりに理解できた	れた集団」の「1 規制緩和で何が変わったか?」を読み、全体の説明の流れを把握したうえ とところ、理解できなかったところを確認する。	120分
	事後学修 な特徴があり、それに対し 問に感じた点について、表	、および授業での説明をふりかえりながら、「自然独占」が生じる事業にはどのようようして政府の介入がどのように行われるのかについて、まとめておく。理解が不十分な点や疑故科書の「読書案内」に掲載されている書籍等を調べ、明らかになった点をまとめる。	
	政府の失敗」	市場の失敗をもたらす「公共財」および「情報の非対称性」とはどのような特徴をもつので れに対して政府はどのような介入を行うのか、という点を検討する。	
5	到達目標 それに対して政府はどの		<i>ひか、</i>
		れた集団」の「2 市場の失敗・政府の失敗」を読み、全体の説明の流れを把握したうえで、 ころ、理解できなかったところを確認する。	120分
	事後学修 る事業にはどのようような く。理解が不十分な点や なった点をまとめる。	く、および授業での説明をふりかえりながら、「公共財」および「情報の非対称性」が生じな特徴があり、それに対して政府の介入がどのように行われるのかについて、まとめてお を問に感じた点について、教科書の「読書案内」に掲載されている書籍等を調べ、明らかに	120分
	を支配している?」	財界が政治に対してどのような影響力を及ぼしているのか、その反対に政治は財界をどの。 コントロールしているのか、という点を検討する。	
6	到達目標きる。	オ界に政治に対する影響力、および政治による財界の支配がどのように行われているのかを 	説明で -
	事前字修 で、自分なりに理解できた	で政治」の「1 大企業が政治を支配している?」を読み、全体の説明の流れを把握したうえとところ、理解できなかったところを確認する。	120分
	接業で配布されたレジュラ 事後学修 いて、まとめておく。理解を調べ、明らかになった点	く、および授業での説明をふりかえりながら、財界と政治の相互の一般的な影響力関係につ 解が不十分な点や疑問に感じた点について、教科書の「読書案内」に掲載されている書籍等 気をまとめる。	120分

【授業	計画】※日	日程について、複数の曜日・	時限にて同授業を開講の場合は、併記を行っている。	
回数		テーマ	内 容	
		政治(2):大企業の構造 」と政治的紛争」	財界と政治の相互の影響力関係について、「製造物責任法」の制定過程や影響力の分布調査 浮かび上がるより実際的な関係性について検討する。	 をから
7	この回の 到達目標	る。	、財界と政治の相互の影響力関係が経験的な事例から見てどのようなものであるのかを説明	明でき
	事前学修	たうえで、自分なりに理解	政治」の「2 大企業の構造的な影響力と政治的紛争」を読み、全体の説明の流れを把握してきたところ、理解できなかったところを確認する。	120分
		について、まとめておく。 籍等を調べ、明らかになっ		120分
	送挙と呼えるか」	7治(1):政策で選挙は戦	政策投票とはどのような投票行動であり、実際に政策投票を行うことの困難さについて検言る。	付す
8	この回の 到達目標	できる。	策投票とはどのような投票行動であるのか、また政策投票を行うことに伴う困難さについて	て説明
	事前学修	りに理解できたところ、理	:治」の「1 政策で選挙は戦えるか」を読み、全体の説明の流れを把握したうえで、自分な 解できなかったところを確認する。	120分
		ついて、まとめておく。理 等を調べ、明らかになった		120分
	がかりは」	(2) : 政策に代わる手	有権者の投票行動に関して、政策以外の決定因として候補者の個人的資質や政党がどれだいているのか、および戦後の日本の政党対立がどのような軸に沿って展開されてきたのかを る。	
9	この回の 到達目標	後の日本政治の対立軸がど	、有権者の投票行動において候補者の個人的資質や政党がどれだけの影響力を持つのか、 のようなものであったのか説明できる。	また戦
	事前学修	なりに理解できたところ、	(治) の「2 政策に代わる手がかりは」を読み、全体の説明の流れを把握したうえで、自分理解できなかったところを確認する。 、および授業での説明をふりかえりながら、候補者や政党支持に基づく投票行動モデルに	120分
	事後学修	はどの程度の説明能力があて、まとめておく。理解が 調べ、明らかになった点を	るのか、また戦後の日本の政党対立はどのような軸に沿って展開されてきたのかについ 不十分な点や疑問に感じた点について、教科書の「読書案内」に掲載されている書籍等を まとめる。	120分
	役割がある		パスポートの発券や沖縄米軍基地用地の代理署名などの事例を踏まえて、日本における中5 方の間での行政事務の委任関係について検討する。	央と地
10	この回の 到達目標		本における中央と地方の間での行政事務の委任関係について説明できる。	
	事前学修	分なりに理解できたところ	」の「1 自治体には2つの役割がある」を読み、全体の説明の流れを把握したうえで、自 、理解できなかったところを確認する。 、および授業での説明をふりかえりながら、日本における機関委任事務が抱えていた長所	120分
		と短所について、まとめて いる書籍等を調べ、明らか	おく。理解が不十分な点や疑問に感じた点について、教科書の「読書案内」に掲載されて になった点をまとめる。	120分
	存」	〔(2):国と地方の相互依	地方自治体の権限の決め方として挙げられる「制限列挙方式」と「包括授権方式」がどの。 特徴を持つのか、また戦後の日本の中央地方関係ではどちらの方式が採用されどのような特 示していたのかについて検討する。	ような 寺徴を
11	この回の到達目標	限の特徴について説明でき		·体の権
	事前学修	理解できたところ、理解で	」の「2 国と地方の相互依存」を読み、全体の説明の流れを把握したうえで、自分なりにきなかったところを確認する。 、および授業での説明をふりかえりながら、地方自治体の権限に関する「制限列挙方式」	120分
		と「包括授権方式」の特徴 に感じた点について、教科	、および戦後日本の地方自治体の特徴について、まとめておく。理解が不十分な点や疑問書の「読書案内」に掲載されている書籍等を調べ、明らかになった点をまとめる。	120分
	「マスメテディアは政	ディアと政治 (1) : マスメ な治を動かす?」	実際の事例においてマスメディアが政治に対してどれだけの影響力を発揮したのか、また町中立性に関してテレビと新聞では違いがあるのかについて検討する。	汝治的
12	この回の 到達目標	の扱いの違いについて説明		中立性
	事前学修	たうえで、自分なりに理解	「イアと政治」の「1 マスメディアは政治を動かす?」を読み、全体の説明の流れを把握してきたところ、理解できなかったところを確認する。	120分
	事後学修	授業で配布されたレジュメ うに発揮されたのか、また おく。理解が不十分な点や になった点をまとめる。	、および授業での説明をふりかえりながら、マスメディアの政治に対する影響力がどのよ 政治的中立性に関してテレビと新聞ではどのように対応しているのかについて、まとめて 疑問に感じた点について、教科書の「読書案内」に掲載されている書籍等を調べ、明らか	120分

【授業	計画】※日程について、複数の曜日	・時限にて同授業を開講の場合は,併記を行っている。	
回数	テーマ	内 容	
	「マスメディアと政治(2):マスメ ディアは誰の味方か?」	マスメディアと他の政治的アクターの連携関係、およびその連携関係がもたらす正負の影響でいて検討する。	 撃力に
13	到達目標 について説明できる。	、マスメディアと他の政治的アクターの連携関係、およびその連携関係がもたらす正負の 「	
	事前学修 教科書の「第6章 マスメララスで、自分なりに理解で	ディアと政治」の「2 マスメディアは誰の味方か?」を読み、全体の説明の流れを把握したできたところ、理解できなかったところを確認する。	120分
	事後学修 係、その連携関係がもたら	く、および授業での説明をふりかえりながら、マスメディアと他の政治的アクターの連携関っす影響について、まとめておく。理解が不十分な点や疑問に感じた点について、教科書の こいる書籍等を調べ、明らかになった点をまとめる。	120分
	「講義のまとめ」	教科書の第1章から第6章までをふりかえり、各章での議論の要点について解説を行い、全 論の流れ、および各章で提示された理論やモデルについて検討する。	本の議
14	到達目標	ー で、各章で提示された理論やモデルの現実的妥当性および相互の関連性について説明できた。	5.
	事前学修 教科書の第1章から第6章まる。	でを読み返して、自分なりに理解できたところ、理解できなかったところを改めて確認す	60分
	事後学修 現実の政治的問題を説明で	く、および授業での説明をふりかえりながら、各章で提示された理論やモデルでどのようにできるのかについて、まとめておく。理解が不十分な点や疑問に感じた点について、教科書いる書籍等を調べ、明らかになった点をまとめる。	180分
	「授業内試験および解説」	この講義で説明してきた理論やモデルについて正確に習得できているか否か、授業内に試験い確認し、その解説を行う。	険を行
15	到達目標	て、授業内で説明した理論やモデルについての試験問題に的確に解答することができる。	
	事則字修 る。 	でを読み返して、自分なりに理解できたところ、理解できなかったところを改めて確認す	180分
	事後学修 試験で問われた内容につい いて改めて理解を深める。	って、自分の解答がどの程度説明できていたのか確認し、十分に説明できなかった部分につ	60分